

平成 26 年（第 8 回）みどりの学術賞受賞者

しば おか ひろ お
柴 岡 弘 郎（80 歳） 大阪大学名誉教授

功績概要

植物生理学の分野において、茎が細長く伸びるメカニズムの研究に取り組み、植物ホルモンのジベレリンが細胞壁のセルロース繊維を横方向に並べることによって細胞の肥大化を防ぎ、細胞を細長く成長させていることを解明した。このほかにも、植物細胞形態形成や細胞質分裂制御機構の研究においても国際的に高い評価を受けている。初期の業績であるヒマワリの茎の先端が太陽を追いかける回旋運動の研究以来一貫した真摯な姿勢は、植物の不思議さや自然への造詣を深める著作等の活動にも通じており、みどりに対する国民の理解増進にも大きく寄与した。

い で ひさ と
井 手 久 登（77 歳） 東京大学名誉教授

功績概要

緑地学の分野において、旧西ドイツで学んだ自然を重視する土地利用計画の手法を参考にして、地形が複雑で多様な自然風土を持つわが国にふさわしい土地利用計画の理論と手法を確立した。特に、地形や土壌、植生などの自然条件に加え、地域の歴史や文化的背景、社会経済条件も考慮して土地の保全・利用を行う「景域保全」の手法の確立に多大の貢献をした。これらの結果として、今日の国土保全、都市農村整備、緑地緑化等の分野においては、みどりや自然を重視した計画手法が幅広く実践され定着するに至っている。

（年齢は平成 26 年 4 月 25 日現在）